土蜘蛛
（つちぐも）

この演目は別名「葛城山」とも呼ばれています。

～あらすじ～
葛城山から、源頼光（みなもとのらいこう）の館をめざした土蜘蛛の精魂は、病に伏す頼光の薬を取りに行く頼光の侍女、胡蝶を取り喰らい、胡蝶に化け、薬を毒薬に取り替えて頼光に飲ませ、殺そうとします。
しかし、頼光はこれに気付き、土蜘蛛は一太刀浴びせられると共に葛城山へ逃げ帰ります。